

経済・金融 フラッシュ

中国経済：9月貿易統計の予想 (10月12日)

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

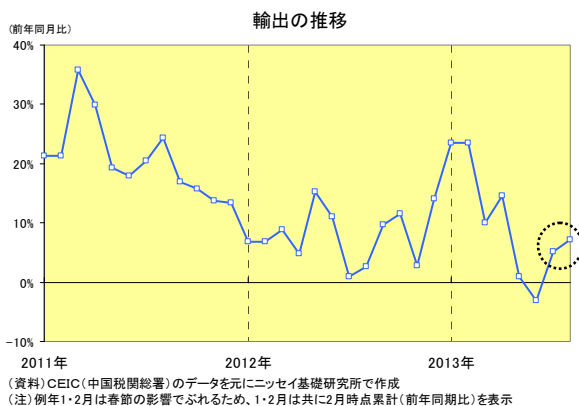
- 中国では、10月12日（土）に9月の貿易統計が税関総署から発表される（下表）。
- 9月の貿易統計は、輸出入ともに8月の伸びをやや下回ると予想するものの、予想どおりなら中国の輸出入は緩やかな回復基調にあるという判断に大きな変化は無いだろう。但し、“輸出水増し”の反動減が大きくなれば、輸出の先行きに不透明感がでる点には要注意だろう。

経済指標		当研究所の予測値		前回	
			対象期		対象期
貿易収支	(百万ドル)	26,172	2013年9月	28,519	2013年8月
輸出総額	(前年同期比)	4.3%	2013年9月	7.2%	2013年8月
輸入総額	(前年同期比)	5.9%	2013年9月	7.0%	2013年8月

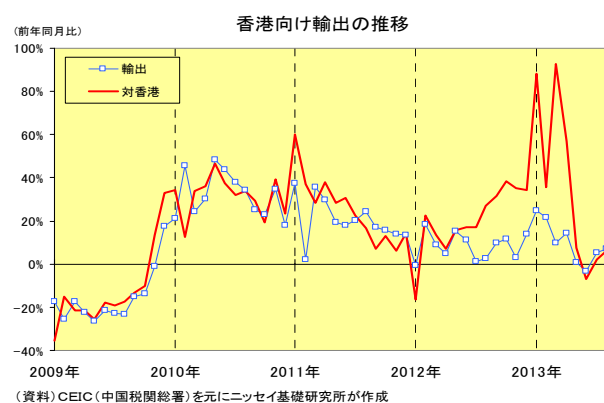
① 輸出

中国の輸出は7月に前年同月比5.1%増、8月は同7.2%増と2ヵ月連続で回復した（図表-1）。今年1-3月期には前年同期比18.3%増と2012年の前年比7.9%増を大幅に上回る伸びを示していたが、香港向けが異常に高い伸びとなるなど“輸出水増し”疑惑が浮上、当局が監視を強化したこともあり6月には一時前年割れとなった。その後、香港向けの異常な動きは治まっている（図表-2）。

(図表-1)



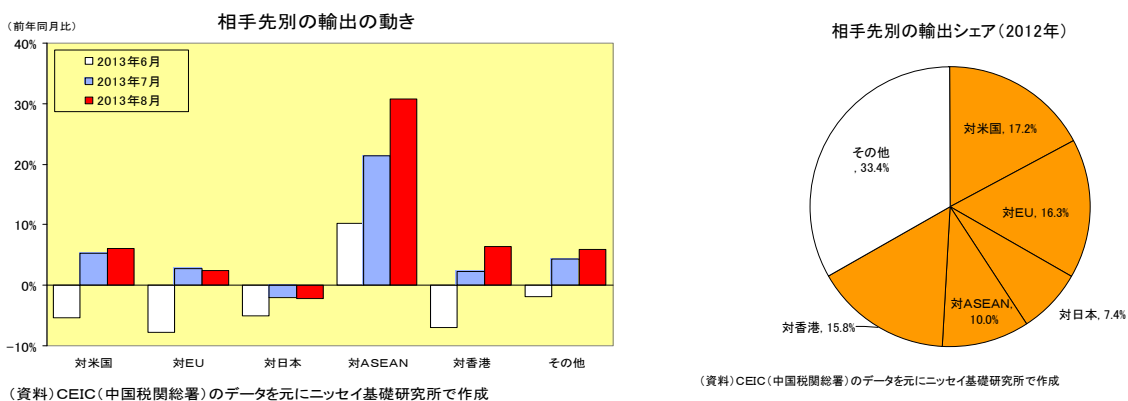
(図表-2)



中国の輸出を相手先別に見ると、図表-3 に示したように日本向けは前年割れが続いているものの、米国向けやEU向けが6月の前年割れからプラスに転じ、ASEAN向けは徐々に伸びを高めており、中国の輸出は回復基調にある。

市場コンセンサスを見ると、9月の輸出は前年同月比5%増前後となっている模様だが、製造業PMI（新規輸出受注）とアノマリー（季節性）を説明変数とした当研究所の回帰モデルでは、同4.3%増の1,942億ドルと推計している。いずれにしても、9月の輸出は8月よりも伸びが鈍りそうだが、予想範囲内なら回復基調にあるとの判断に大きな変化は無いだろう。但し、図表-2 に示したように前年同時期は香港向けが上方乖離し始めた時期でもある。その反動減には要注意だろう。

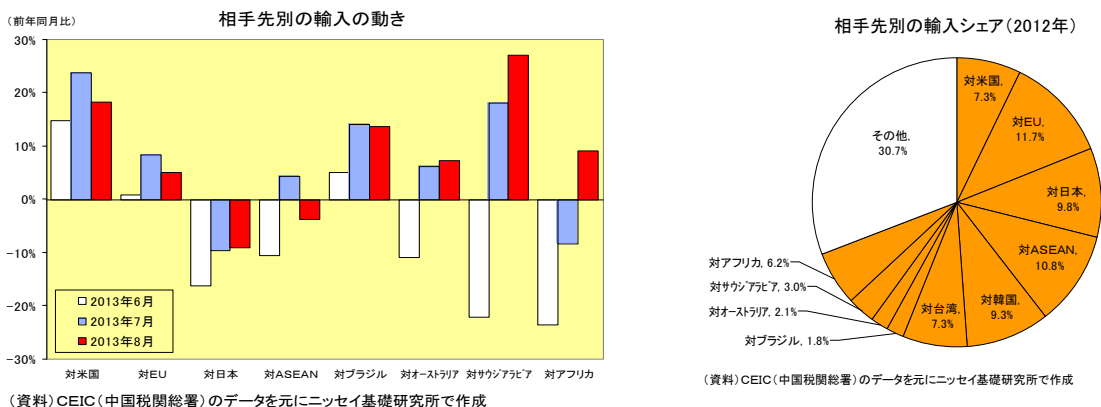
(図表-3)



② 輸入

一方、輸入も7月に前年同月比10.9%増、8月は同7.0%増と2ヵ月連続でプラスとなった。相手先別に見ると、米国からの輸入が好調なほか、大幅に落ち込んでいたオーストラリア、サウジアラビア、アフリカからの輸入も大きく改善してきた(図表-4)。市場コンセンサスは前年同月比7%増前後だが、前述の回帰モデル(輸入用)では同5.9%増の1,680億ドルと推計している。

(図表-4)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。